

科名 外科  
 対象疾患名 乳がん  
 プロトコール名 テセントリク+nab-PTX

| Rp | 形態  | ルート | 薬品名     | 投与量                  | 時刻・コメント                                  | 1 | ... | 8 | ... | 15 | ... | 28 |
|----|-----|-----|---------|----------------------|------------------------------------------|---|-----|---|-----|----|-----|----|
| 1  | 点滴注 | メイン | 生食      | 250mL                | ルートキープ                                   | ↓ |     | ↓ |     | ↓  |     |    |
| 2  | 点滴注 | 側管  | テセントリク  | 840mg                | 初回60分,忍容性良好であれば2回目以降30分まで短縮可             | ↓ |     |   |     | ↓  |     |    |
|    |     |     | 生食      | 250mL                | 専用ルートJY-PF340P52使用<br>投与前後生食フラッシュ        |   |     |   |     |    |     |    |
| 3  | 点滴注 | 側管  | デキサート注  | 6.6mg                | 30分かけて                                   | ↓ |     | ↓ |     | ↓  |     |    |
|    |     |     | 生食      | 50mL                 |                                          |   |     |   |     |    |     |    |
| 4  | 点滴注 | 側管  | アブラキサン注 | 100mg/m <sup>2</sup> | 30分かけて<br>壊死性抗がん剤                        | ↓ |     | ↓ |     | ↓  |     |    |
|    |     |     | 生食      | 1Vに付20mL             | 小児用点滴ルート<br>(JY-ND363PL)を使用<br>フィルター使用不可 |   |     |   |     |    |     |    |

★1クール=28日

～MEMO～

・ 催吐レベル2(10～30%)

<アブラキサン>

**本剤は特定生物由来製品（血液製剤）のため、同意書およびLot番号管理が必要である。**

他の薬剤との配合または同じ静注ラインでの同時注入は避ける。

5mg/mLとなるように調製し、総投与量をラベルに赤字で記載する。

投与時に注射ラベルで総投与量を確認し、小児科用点滴ルート(JY-ND363PL)を使用。

投与量が少ないためルート内は出来るだけ入れきる。(目安:ルートの半分程度)

その際、滴下速度はそのままにする。(クレンメは全開にしない。)

インラインフィルターを使用しない。

投与前後にルートキープの生食でフラッシュ。

<テセントリク>

投与速度:初回60分,忍容性良好であれば2回目以降30分まで短縮可

本剤作用機序により、過度の免疫反応による副作用が現れることがある。発現した事象に応じた専門医と連携すること。

特に注意を要する副作用:間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、肝炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害

infusion reaction、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓症

インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用し、投与前後に生食でフラッシュする。